

令和元年度 学校評価 集計結果

令和元年度 学校評価 アンケートの概要

1. 実施期間 教員：令和元年11月（自己評価）、回答53人
保護者：令和元年11月下旬～12月上旬 用紙配付
生徒：令和元年11月 HRにて実施

2. 回答数

	保護者	生徒
1年生(46期生)	202人	277人
2年生(45期生)	204人	308人
3年生(44期生)	168人	299人
合計	574人	884人

3. 質問項目 大阪府教育委員会指定の必須項目を含めて実施

1. 自己評価(教員アンケート)の集計結果

(1)分析の概要 質問のうち3項目で数値が前年比で大きく上昇した。

1. 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(今年度84.4% ← 昨年度89.3%)
2. 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。(93.8% ← 75.0%)
3. 授業において、指導方法の工夫・改善に努めている。(91.7% ← 98.2%)
4. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(80.0% ← 78.6%)
5. 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。(79.4% ← 72.7%)
6. 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(80.0% ← 82.1%)
7. 学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。(70.3% ← 66.7%)
8. 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(88.6% ← 76.4%)
9. 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。(90.9% ← 76.8%)
10. いじめ(疑いを含めて)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。(93.9% ← 87.3%)

* 質問2, 8, 9の上昇と質問1, 3の下降が目立つ。質問2については学校評価のみならず、様々な局面でアンケートや振り返りを行い、それを今後に生かす体制が校内に定着してきていることを示していると思われる。また、質問8については本校が Classi の導入2年目を迎え、校内からスマホ端末を用いて保護者に学校の様子を配信するなどの取り組みが進んでいることが数値に影響しているものと思われる。

2. 保護者アンケートの集計結果

・保護者アンケートについては全体的には前年比で大きな数値の変動は見られなかったものの、全体として数値が上昇傾向にあるのはプラスの部分であると思われる。

(1)分析の概要 質問のうち3項目で数値が前年比で5ポイント程度上昇した。

1. 子どもは学校に通うのが楽しいと言っている。(今年度 83.8% ← 昨年度 77.4%)
2. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。(61.6% ← 59.8%)
3. 学校の生徒指導の方針に共感できる。(78.5% ← 78.5%)
4. 学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(81.5% ← 79.1%)
5. 学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。(86.4% ← 81.9%)
6. この学校の部活動は活発である。(85.6% ← 87.8%)
7. 学校は子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。(87.6% ← 87.8%)
8. 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。(78.5% ← 77.1%)
9. この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(72.2% ← 71.5%)
10. 学校は教育情報について、文書、ホームページ、メルマガ等を通じて提供の努力をしている。(85.2% ← 79.6%)
11. 学校はいじめなど子供が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(82.5% ← 79.9%)

*全体としてほぼ横ばいの数値ではあるが、質問1, 5の「生徒」「保護者」に直接関わる項目の上昇が見られたことは、非常に喜ばしい。特に質問1については、「厳しさの中に活気もある交野高校」につながる数値であり、秩序と活気の両立を目指していく上で、励みになる数字である。また、質問10の上昇については、前述した Classi 等のツールの普及が大きく影響していると思われる。

3. 生徒アンケートの集計結果

(1)生徒アンケート 分析の概要 質問のうち3項目で数値が前年比で5ポイント程度上昇した。

1. 学校に行くのが楽しい。(今年度 80.6% ← 昨年度 76.4%)
2. この学校には他の学校にはない特色がある。(59.3% ← 60.7%)
3. 授業が楽しくわかりやすい。(51.5% ← 51.1%)
4. 教材や教え方に ICT(パソコンやプロジェクター等)も含めて、様々な工夫をしている先生が多い。(87.0% ← 81.4%)
5. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(55.8% ← 50.6%)
6. 復習などを中心とした宿題の量は適切である。(73.1% ← 65.5%)
7. 理解度に応じて補習や講習が行われている。(65.1% ← 63.9%)
8. 学校生活についての先生の指導は納得できる。(53.2% ← 55.2%)
9. 将来を考えると、校則はほぼ適切だと思う。(60.7% ← 62.9%)
10. 先生は、いじめなど生徒が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(75.3% ← 69.8%)
14. 将来の進路や生き方について考える機会がある。(92.0% ← 87.3%)
15. 将来の進路はだいたい決めている。(69.3% ← 71.0%)
16. 自分の将来の進路決定に際して、本校の専門コースが役立っていると思う。(67.8% ← 57.6%)
17. 進路説明会、大学見学、企業見学など進路選択に関して学ぶ機会がある。(82.9% ← 81.5%)
18. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。(85.5% ← 81.6%)
19. 学校全体として、部活動は活発だと思う。(86.8% ← 82.7%)
20. 体育祭・文化祭など学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。(82.8% ← 77.0%)
21. 自習室、図書室等の開室がされていて、学習する環境が整っている。(88.2% ← 84.2%)
22. 学校は、清掃活動が行き届いていて清潔である。(48.3% ← 46.9%)

*全体として数値が下降している項目はあるものの、その幅は小さくむしろ上昇幅が目立つ項目として質問1、4、10、16、19、20が挙げられる。それに関しては、さらに細かく分析してみると現2年生の数字が昨年度に比べて極めて高いことがわかった。ある程度の学年差やカラーが生じる中で45期生である2年生が授業の形式に関する質問5で約30ポイント、コース制の意義に関わる質問16で20ポイント近く上昇している。アクティブラーニングを積極的に取り入れたり、進路指導に関してよりきめ細やかに指導を行っている雰囲気がかえり、これが全校的に広がっていくことで学校の発展につながる可能性が十分にあると考えられる。

4. 自由記述部分について

保護者、生徒、教員からは自由記述による意見も多数寄せられた。すべての意見について、次年度以降に役立てられるように、職員会議で共有した。